

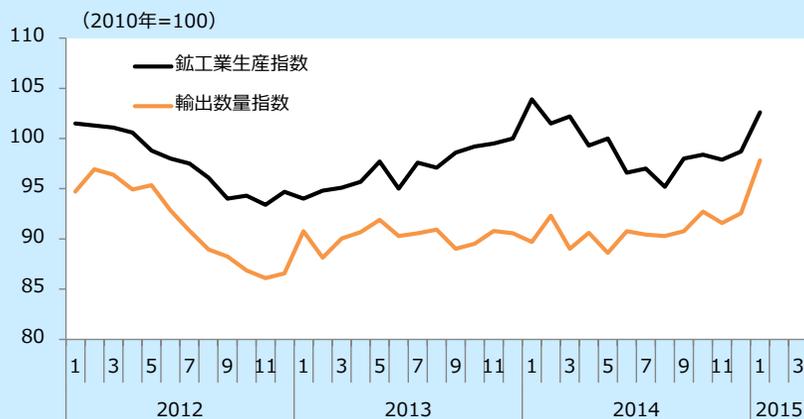
日本：鋳工業生産指数（2015年1月）

MRI Daily Economic Points
March 4, 2015

図表 鋳工業生産／在庫指数



図表 鋳工業生産と輸出数量



評価ポイント

2015年1月の結果

- 2015年1月の鋳工業生産指数(速報)は、季調済前月比+4.0%と大幅な上昇となり、2ヶ月連続で上昇した。増税前の14年3月の水準を初めて上回った。
- 内訳をみると、15業種中13業種で上昇した。はん用・生産用・業務用機械が前月比+9.4%、電気機械工業が同+5.6%、輸送機械工業が+4.5%と、加工業種の上昇が目立った。中国の春節対応による押上げなど特殊要因もあり、15年1月の輸出数量が前月比+5.7%と高い伸びを示した。こうした輸出の好調が加工業種の生産増加に繋がったとみられる。
- 在庫指数は前月比▲0.6%と2ヶ月連続の低下となった。耐久財の在庫削減は進んでいる一方、生産財や非耐久消費財では前向きな在庫増しの動きもみられ、在庫の低下幅は小幅にとどまった。
- 製造工業生産予測調査によると、2月の生産見込みは、製造工業全体で前月比+0.2%となった一方、3月は同▲3.2%と大幅な低下が予測されている。春節要因の剥落に加え、消費をはじめとする内需の回復力の鈍さが影響している可能性がある。

基調判断と今後の流れ

- 生産は、消費税増税後の内需の持ち直しや米国向けを中心とする輸出の回復を背景に、緩やかに持ち直している。増税後に高止まっていた耐久財や投資財の在庫調整も徐々に進んでいる。
- 先行きは、3月頃にかけて生産が一旦低下する可能性があるものの、内需の回復持続や米国経済の堅調などを背景に、基調としては緩やかな回復を見込む。